

# 広島県における定量的な基準(案)

## A: 具体の医療内容からの整理

## B: 入院料からの整理

高度急性期

①

【50床換算・月当たり件数】

- 手術総数 114回数 → 86回数
  - 救急医療管理加算 19件 → 16件
  - 呼吸心拍監視 45件 → 39件
- ※いずれか2つを満たしていること

福山・府中圏域の  
閾値3項目指標値  
※対象病棟数(29)

- ・ 救命救急入院料(救命救急C)
- ・ 特定集中治療室管理料(ICU)などの治療室

急性期

②

【50床換算・月当たり件数】

- 手術総数 57回数 → 43回数
  - 救急医療管理加算 19件 → 16件
  - 呼吸心拍監視 45件 → 39件
- ※いずれかを満たしていること

- 現状の報告を基本
- ・ 小児入院医療管理料(病棟単位)

回復期

④

準急性期

③

②で回復期となった病棟のうち  
救急医療管理加算の実績あり

- ・ 回復期リハビリテーション病棟入院料

慢性期

特にしきい値は設定しない。

- ・ 緩和ケア病棟入院料

- 慢性期又は回復期
- ・ 療養病棟入院基本料
- ・ 特殊疾患病棟入院料 など

※ 上記に関わらず、地域医療介護総合確保基金(補助金)を活用した回復期病床の整備(施設・設備整備)を行った病棟については、「回復期」とする。